

みなさん、おはようございます。今日は、第2期についての話をします。

第1期のキーワードは「土台」でした。みなさんのやる気あるスタートのおかげで、安心して生活していける雰囲気できたのではないかと考えています。その雰囲気を大切にしつつ、「関わりを深める第2期」が始まります。

さて、ここで言う「関わり」とは、何だと思えますか？ ただ単に、仲間と仲良くなったとか、あいさつできるようになったという関わりだけではなく、さまざまな活動をする中で、仲間同士の関わりを高めていくことだと考えます。第2期には宿泊研修もあり、活発に活動するにはもってこいです。

それでは、その活動の中で、どのように「関わり」を深めていけばよいのでしょうか？

第一段階は、「自分の役割をしっかりと果たす」ことだと思えます。写真は、3年A組の飯田碧泉さんです。彼は、昨年から体育係をやってくれていますが、実に仕事人です。毎回毎回、体育館や倉庫などを開け、道具の準備、片付けをしてくれます。仲間への準備や体操の指示も出します。そして学習カードも全員分集めて、職員室に届けてくれます。実によく仕事してくれます。



この飯田さんの姿から、先生は「役割を果たす」とは「徹して動く」、つまり「徹底的に自分の仕事をやりきる」ことだと思っています。時には「めんどくさい」とか「まあこのくらいでいいかな」という弱い気持ちが表れるかも知れませんが、時には「応えてくれない仲間」に、残念な気持ちになるかも知れません。しかし、それに打ち克ち「自分の役割を果たす」ことがこの第一段階の姿だと思えます。

係がこれほど働きかけてくれれば、他の子たちもその動きに応えざるをえませんね。自然と仲間に応える動き、係の動きをフォローする動きがクラスに生まれてくることでしょう。これが第2段階です。

ここまでくるとクラスには、「頑張るとみんなが応えてくれるからうれしい」「みんなでやるとうまくいく」という思いが生まれてきます。これこそが第2期の目標である「関わりを深める」ことにつながります。安心して生活できるクラスから、安心して頑張ることができるクラスに高まるわけです。

一人一人が役割に徹した動きができたとき、それぞれの学級が劇的に変わると思えます。そうすれば、各学年の宿泊研修も大成功すると思えます。

第2期のみなさんの動きに期待しています。第2期もがんばっていきましょう！